

2025 年 10 月 14 日

- ・見学先：セイコーミュージアム銀座
- ・場所：東京都中央区銀座 4 丁目 3-13
- ・開催者：セイコーミュージアム銀座
- ・見学日：令和 7 年 (2025 年) 10 月 11 日 (土) 11:30~13:00
- ・申込者：5 名
- ・参加者：5 名 (PEN 会員 1、PE 会員 4)
- ・参加費：無料 (交通費は参加者負担)
- ・CPD：1.5PDH

セイコーミュージアムは、1981 年にセイコー創業 100 周年記念事業として、時計の資料標本の保存と研究をする機関として設立され、既に 40 年の歴史を持つ施設です。2020 年には創業者の生誕 160 周年を迎える際に創業の地である銀座に移転し歴史を紹介する総合的な文化施設として銀座を訪れる人々に親しまれています。

本ミュージアムの見学はとても人気があり、10:30 から 16:30 の入館まで 1 時間毎に見学受付を行っています。銀座という場所柄、特に外国人の人気が高く、JSPE グループが訪問したときには日本人見学者はあまりおらず、殆どが外国人という状況でした。

ミュージアム正面には高さ 5.8m の大型振り子時計が立っており、優しい光と音色で時を告げています。セイコーの歴史は古く、創業者の服部金太郎が 1881 年に銀座で服部時計店を創業、関東大震災などの糺余曲折を経て、1960 年にはセイコーが世に送り出す最高の時計として、グランドセイコーを生み出し、今日まで進化し続けています。また 1964 年の東京オリンピック以降、記録に挑戦するアスリートや極限に挑む冒険家も支えています。



世界新記録(サイン・ボルト)



各種競技用のストップウォッチ



懐中クロノグラフ

ミュージアムは地下1階から6階まで、それぞれテーマを持って展示されています。

## B1：極限の時間

極限に挑む人々へ向けたセイコーの技術。ウサイン・ボルトの世界記録も展示。

## 1F：はじまりの時間

大型振り子時計(Rondeau La Tour)が時間の世界に誘い精密機械技術の鑑賞が始まります。

## 2F：常に時代の一歩先を行く

創業者の挑戦と努力を続けた足跡が紹介されています。

## 3F：自然が伝える時間から人がつくる時間

時を計る道具は七千年ほど前にエジプトで誕生。その進化の歴史と日本の和時計を紹介。

## 4F：精巧な時間

精工舎初の八日巻掛時計からクオーツ時計まで、歴史と代表的製品を紹介します。

## 5F：いろいろな時間

使命としての正確な時刻だけでなく、様々な価値観に合う時計達。キャラクター時計も。

## 6F：グランドセイコーギャラリー

社名を冠する最高峰の時計、その歴史的製品100点余りが一堂に並びます。



集合写真（1）



自動巻き腕時計用マジックレバー



集合写真（2）

ミュージアム館内を一通り1時間半ほど見学し終えた後、JSPEグループの参加者は皆、とても満足した様子で帰路へと付きました。なお、上の集合写真に挟まれた中央写真右側の青いパネルに見える解説図は、セイコーが1959年に開発した自動巻き腕時計の部品です。

このハサミのような部品の腕の動きで回転錘の回転運動を、ゼンマイを巻く上下運動に変えます。これにより効率良くゼンマイを巻き上げることができます。このハサミの腕は、マジックレバーと呼ばれ、巻き上げ効率を飛躍的に高めた、セイコー独自の自動巻き機構の基幹部品です。今でも、セイコーのほとんどの自動巻き時計に使用されています。

今回の見学会は、よくある工場見学会や研究所訪問とは異なり、質疑応答もなく、自らが展示の説明資料を積極的に学ぶことで、技術への興味と理解を深め、新たな知識を得ることとなりました。

参加者からも面白かった、楽しかったという感想が聞かれましたので、充実した見学会になったものと思われます。

—以上です—

文責： 山 村 佳 輝  
(JSPE 教育部会)